

4

ブックガイド

読むだけで楽しい、美しい、美味しい！

五感で感じる「旅小説」

大矢博子

たど
辿る、出会う、味わう旅の醍醐味

逃げる、追う、探す旅のミッション

昔の人も、旅をした

さらに広い世界へ 海外の旅



連載小説

18 小路幸也

天狗さまのもとに 続すべての神様の十月③
出勤すると、なぜか勝手に火事が消えてしまう消防士。その意外な理由とは？

50 近藤史恵

おはようおかえり⑥

小梅は妹に乗り移った曾祖母と梅田に出掛けるが、あることに腹を立てる。

76 朝井まかて

あさぼしよぼし
朝星夜星①

川口居留地近くでは外国人との間に事件が起き、おゆきは心を痛めていた。

102 あさのがつこ

おいち不思議がたり 旅立ち篇②

おいちは伯母のおうたに諭され、新吉と将来について話し合うことにする。

126 西條奈加

六つの村を越えて髭をなびかせる者⑥

獄中死した青嶋を思い、何も手につかない徳内のある人物が訪ねてくる。

164 宮部みゆき

子宝船 その三 きたきた捕物帖②

「多香屋」の若夫婦は宝船の絵を手に入れ、子を授かることができたが……。

186 山本一力

緋色の壺 その七 猷残屋佐吉御用帖③

賭場の盆の前に進んだ佐吉は、あるじ永承に言われた通りに勝負をかける。

話題の著者に聞く

154 鯨井あめ『晴れ、時々くらげを呼ぶ』

小説は至高です。
そう信じて書き続けます。

49 WEB文蔵

200 筆者紹介

204 文蔵バックナンバー紹介

